

【2022 年度 事業活動総括表】

- ① 2022 年 11 月          就活川柳（別紙）
- ② 2023 年 3 月          ラポール学園 提携講座  
『コロナ禍における若者へのキャリア支援③』（別紙）
- ③ 通年                    キャリア相談 国内若者・学生（別紙）  
                              キャリア相談 留学生（別紙）
- ④ その他                （別紙または口頭報告）

## 第3回就活川柳 最優秀作品が決定しました！！

第3回 CaPSAY カップ 就活川柳は2022年11月末に締め切り、今年も多くの川柳が寄せられました。審査の結果、最優秀作品賞、優秀作品賞が選出されました。各句は別項の【講評】にてご紹介します。

コロナ禍中での就活も3年目となり、若者も『慣れてきた』のか就活そのものには『余裕』も感じますが、意識が『就職活動』と言うよりも、より長いスパンで『自分らしいキャリア形成』といった方向に大きく変化してきているのかなあ、とも思えます。第4回 CaPSAY カップ 就活川柳では、意識の変化にマッチした『素敵で洒落た』川柳が寄せられることを、今から心待ちにしています。選者は、品川裕香さんです。

(H)

## 【講評…第3回就活川柳】

(最優秀賞)

面接日 母のおむすび 縁結び

面接を受ける詠み手の緊張と幸運を祈る母の思いが重なる柔らかな温かい、明るい一首。読後に前向きなイメージが広がるところがいいですね。

(優秀賞)

説明会 鳩より首振る 就活生

(一句目) 説明する人の話に聞き入り、必死に首を振る大勢の就活生たちの映像が浮かぶユーモラスな句。このユーモアが就活には必至です。

ガクチカは ワクチン予約と

(二句目) コロナ禍ならではのガク

ステイホーム

チカ。何もできなかった悔しさ

や焦りが行間から立ち上ってきました。

(入選)

22歳 初めて自分と向き合った

コロナ禍で 慣れぬ環境 オンライン

インターン オンラインでは ワンパターン

適性も 自分のことも 分からない

不採用 次に繋がる 理由欲しい

## 【全体の講評】

コロナ禍のもとでの就活川柳も3年目となりました。若者学生の皆さんも就活に少しお疲れ気味の様で、全体としてパワー不足の感じがします。

ただ一方で、日ごろの相談の対応やアンケート等を通じて思うのは若者学生の就活に対する意識が大きく変わってきているのではないかということです。従来は就活ではいかにして『企業好み』の人財を装うか、といったところに丁々発止の駆け引きも加わって、パワーを感じる川柳が多かったのですが、最近はいかにして『自分らしく働く』か、またキャリアチェンジをするか、といった意識の変化なのでしょうが、自分に合った会社さがしをしているのですが、残念ながらその点では、まだ『楽しく、元気が出る』川柳に結びついていないようです。

次回では新卒就活に限らず、転職組も含めて『楽しく、元気が出る』川柳を期待します。

## コロナ禍における若者へのキャリア支援③

テーマ：「「キャリア図鑑」創刊号 ～人生、七転び八起・偶然の出会い～」

～樋口理事長(認定キャリアコンサルタント)とゲストスピーカー(2名)報告による、当日参加者も含めた  
双方向型パネル・ティーチン～

人生は山あり谷あり、紆余曲折、こけたりつまずいたりしながらなんとかここまで歩んできた。この仕事がしたい！と最初から思っていたわけではない。「失敗の連続だった」「たまたまだ」と異口同音に人は言う。成功に至るまでにはどんな失敗や転機があったのか？諦めずに頑張れたモチベーションは何か？

本企画ではいくつかの職業の若者をゲストに招き、そのエピソードを語っていただく。

コロナ禍が続く緊急事態。不安定な雇用が拡がり、再びの就職氷河期の様相です。この未曾有の状況で若者の就職やキャリア形成支援をどうすればいいのか？企業や産業界はもとより若者自身も、今までのやり方では立ち行かなくなってきました。若者の採用やキャリア形成はどうなるのか！混迷の中、若者・学生支援の最前線にいるキャリアコンサルタント、教育関係者、企業関係者そして父母等の役割はとて重要で重要です。進路就職支援にかかわる人にとってはキャリア形成の事例を知る絶好の機会。実務にも役立つと思います。

若者・学生支援の視点を共有し連続して取り組んでいるセミナーで、ケア労働に関わっている皆さん方にも、参加を呼びかけています。

開催日時：2023年3月12日(日) 午後7時～9時

開催場所：オンライン(zoomにて) (新型コロナ感染予防対策のため、本年も遠隔開催といたします)

内容：オープンでのパネル・ティーチン

講師(基調報告)：樋口 秀一(キャリアコンサルタント国家資格、CaPSAY 理事長)

ゲストスピーカー：高山 則男(仮名)自動車メーカー社員・片山 洋志(仮名)地方公務員・総合職

コディネーター：NPO 法人 CaPSAY 事務局(樋口理事長兼務)

定員：50名先着順

主催：NPO 法人キャプセイ・(協力)若者キャリア支援の実務勉強会

提携・共催：公益社団法人京都勤労者学園(ラポール学園)

参加対象者：キャリアコンサルタント(大学・ハローワーク・企業)、学校関係(進路指導)、企業人事、若者・学生、父母、市民、他

参加申込み：お手数ですが CaPSAY のホームページ [npocapsay.org](https://npocapsay.org) の参加申し込みフォームに必要事項をご記入ください。オンライン会議の URL を送ります。

\*ご不明な点やご質問等がございましたら、以下のアドレスにメールをお願いします。

勉強会(セミナー)担当幹事・樋口 [npo.capsay.h@gmail.com](mailto:npo.capsay.h@gmail.com)



参加申し込み URL：<https://forms.gle/VG7EiNipA51RXJoUA>

(左の QR コードからの申し込みも可能です)

(共有資料)

3月22日、昨年・一昨年に引き続き、若者・学生応援セミナーの一環として、双方向型パネルティーチン形式の『講座：コロナ禍における若者へのキャリア支援③』をオンラインで開催しキャリアコンサルタント、学校関係者、企業人事担当、若者、市民ら34名が参加しました。

今回のテーマは『「キャリア図鑑」創刊号 ～人生、七転び八起・偶然の出会い～』で長引くコロナ禍で若者・学生の就活意識や転職動機も変わりつつある中、自分らしく働き自分らしく生きることを実践されている2名のゲストスピーカーをお招きしました。ゲストの高山さん(仮名)は、自分の生きがいを実感するべく海外留学での一期一会の出会いを契機に『自分の好きな人と、好きな場所で仕事ができる素晴らしさ』を体感、キャリアとして実践するために自動車メーカーに就職し、現在はそのメーカーのスタッフとして充実したキャリアを歩んでおられます。

片山さん(仮名)は、2000年頃の就職超氷河期に就職期を過ごし、正社員の職はことごとく閉ざされて大変な苦労を経験されましたが、ぶれずに『人に喜ばれる仕事』を目指し続け、近年、就職氷期世代の若者を対象とした公務員求人に応募し、2年目で合格され現在公務員として住民サービスやケア労働の部門で奮闘されています。

社会や会社の都合に翻弄されることなく、自分らしく働き、自分らしく生きておられるお二人のスピーチに参加者からいろんな質問が寄せられ、若者を応援しサポートする側の我々の心構えもリセットされるような、有意義なパネルティーチンであったと思います。

五十川 記

※ 下記写真は主催者の共通理解用で、画像処理はしていませんので絶対門外不出でお願いします。この本文自体PDFで、データの加工は困難にしています。

